

舞台公演映像 募集

募集締め切り

7月23日(水) 17:00

採択結果告知(予定)

8月27日(水)

第2期 7/2～7/23



舞台公演映像をアーカイブする作品を募集します。

収集協力対価：22,000円(税込) もしくは VHS等のデジタル化費用の実費

※要件を満たした応募作品を対象に、有識者の審査によって採択作品を決定します。

※第1期(舞台公演映像をアーカイブし配信や上映などの利活用に意欲があり権利処理や収録のサポートを希望する作品)の募集は終了しました。

エントリー団体の条件

- ・映像の権利を有する団体または個人であること
- ・本事業及び要件を十分に理解し、納品や必要な情報の提供、広報活動に積極的に協力できること

セレクション募集ページ

<https://epad.jp/news/entry2025/>



これまでの収集数

舞台公演映像(権利処理サポートを含む)3860作品

※2020年～2024年度事業の累計数

演劇	舞踊	伝統芸能	その他
2870作品	822作品	126作品	42作品

マグネティック・テープ・アラートとは



ユネスコが発出した、媒体の劣化や再生装置の減少を要因として、2025年には磁気媒体の映像は再生が難しくなる「マグネティック・テープ・アラート」という危機喚起。

舞台公演映像の活用事例 ※権利処理が完了していない作品に関しては、一定の非営利利用(非営利目的での視聴・上映・教育利用)など、その時点での著作権法の許す利用に限ります

EPAD作品
データベース



EPADに公演映像をアーカイブすることで「EPAD作品データベース」へ登録され、作品情報への検索が可能になります。

上映会



舞台公演映像を劇場空間で上映する上映会やシンポジウムを、首都圏だけでなく全国各地で開催しています。

鑑賞ブース



モニターとヘッドホンで映像を視聴する鑑賞ブースの設置。イベントや劇場ロビー、公共施設など様々な場所に設置されてきました。

ユニバーサル



アーカイブ作品の中から権利処理がなされた作品に、字幕や音声ガイドなどの情報保障をつけて、配信や上映会で広く公開をしています。

EPAD

EPADとは、舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター(Eternal Performing Arts Archives and Digital Theatre)の略称です

お問い合わせ

EPAD事務局 info@epad.terrada.co.jp

件名を「EPAD2025年度セレクション作品募集③ お問い合わせ」としてご連絡ください。

主催：一般社団法人 EPAD

助成：文化庁 人材育成・収益化に向けた

舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援事業



EPADは、創造活動に携わる多くの皆さまと手を取り合い、日本の多様で豊かな舞台芸術の軌跡を、デジタルアーカイブという形で次世代へつなげ、世界にも発信していきたいと願っています。これはまさに、日本の舞台芸術の「地図」をともに描いていく壮大な挑戦です。

日本の舞台芸術の
「地図」をともに描く

EPAD

2025

SELECTION

second period

特にVHSなどのテープメディアは、

劣化や再生機器の減少などで

二度と見られなくなってしまう危機を

ユネスコが呼びかけています。

また、公的支援をとまなう大規模な収集保存としては、

今後2年程度でいったんの区切りとなる可能性があります。

貴重な公演映像が消えゆく前に、ぜひEPADを活用して、

作品を未来につないでください！